

横浜市長
林 文子 様
横浜市健康福祉局 生活安全部食品衛生課長
横溝 力男 様

財団法人 神奈川県動物愛護協会
会長 山田佐代子
横浜市港北区篠原台町 6-41
045-421-5592

この度、国難となっております未曾有の東日本大震災に対しまして、横浜市長様ならびに各部署の皆様方の迅速な対応や休日返上での職務に敬服いたしております。

現地への救済支援、避難者の受入れ、計画停電への申入れ、放射線量測定値の公表等など多忙を極めていらっしゃることは横浜市のホームページを拝読し痛感いたしております。

人命救済が最優先の中、このような申し出は心苦しく存じますが、住む家を追われ避難して来られた方々の精神的な支えの一つとして、下記事項を、ぜひともお聞き届け頂きたいようお願い申し上げます。

横浜市動物愛護センターにおける避難者飼育動物一時預かりの要望

緊急災害時動物救援本部を始め、当協会や動物病院に横浜市へ避難してきた方々から、飼育動物の一時預かり依頼が寄せられております。一時避難所や避難施設への入居、あるいは親類・知人宅への同居の際、飼育動物と共に受け入れて頂くことは非常に困難となっております。

横浜市には、動物愛護センターが完成し開所間近と聞いておりますので、この国難に際し、避難者への心の負担を軽減させるために、避難者の飼育動物を預かるという門戸を開いて頂きたい、切にお願ひ申し上げます。

家族同様として共に避難してきた動物に行き場のない現状は、あまりにも無慈悲に思われます。当協会でも可能な対応は行っておりますが、通常から施設の保護動物が多数おりますので、とても対応し切れません。

横浜市動物愛護センターは、「人と動物のよりよい関係をめざして」作られており、事業の中には「最後まで愛情を持って飼う」飼い主の責務指導も含まれております。

開所を前にして避難者の動物を預かることには困難もあると存じますが、避難者への支援としてのご英断は、今後、横浜市動物愛護センターが、市民に高く評価されることと存じます。どうか、よろしくお願ひ申し上げます。

ご多忙の中申し訳ございませんが、4月10日迄にご返答をよろしくお願ひ申し上げます。

2011年3月28日